

# 令和3年度 第3回社会教育委員会議 会議録

議決日 令和4年3月28日(月)

備考 書面会議

- 出席委員／ 荒川、徳丸、佐藤(一)、山野、佐藤(由)、前川、佐藤(則)、松崎、上野、須賀、岡村、太田、永井、新井、杉山 各委員
- 欠席委員／ なし
- 議事参与者／ 松本教育長、渡部教育部長、鈴木館長(中央公民館)、岡本館長(東公民館)、荒川館長(西公民館)、野田館長(南公民館)、桑島館長(北町公民館)、小川館長(下蔵公民館)、佐藤館長(図書館)、佐藤館長(歴史民俗資料館)、黒澤館長(旭町公民館・指定管理者)
- 事務局／ 加納教育部次長・生涯学習スポーツ課長、池澤生涯学習スポーツ課スポーツ推進係長、岩下生涯学習スポーツ課青少年係長、竹田生涯学習スポーツ課生涯学習振興係長、深津生涯学習スポーツ課主事

## 1 前回会議録の承認

承認された。

## 2 議 事

### ・報 告

#### (1) 生涯学習関連行事等について

【資料1】

上記のことについて、事務局から報告があった。

委員： 質疑なし。

#### (2) 音楽によるまちづくり推進事業について

【資料2】

上記のことについて、事務局から報告があった。

委員： 質疑なし。

#### (3) 放課後子ども教室推進事業について

【資料3】

上記のことについて、事務局から報告があった。

委員： 質疑なし。

#### (4) わらび学校土曜塾推進事業について

【資料4】

上記のことについて、事務局から報告があった。

委員： わらび学校土曜塾に関して、参加者が少ない様に思う。子ども達や保護者に対するPRを推進する必要はないか。

事務局： 例年通り、令和3年度も参加者募集のチラシを各小学校の3～6年生全員に配布した他、蕨市のホームページに掲載している。次年度以降の効果的なPR方法については、引き続き検討していきたい。

#### (5) 信濃わらび山荘事業推進計画について

【資料5】

上記のことについて、事務局から報告があった。

委員： 信濃わらび山荘の事業は、一般市民の利用者へのPRの方法を考えてほしい。委員会としても、会議の議題へ取り入れる等、存続の方向で推進していただきたい。一度廃止すれば、なかなか新しい山荘の実現は難しい様に思う。

事務局： 令和3年度『信濃わらび山荘事業推進計画』の基本方針については、更なる利用の促進を図るための計画であることから、周辺の魅力なども含めて、様々な手法で利用促進に向けて、推進していく所存である。

同時に施設は、築30年以上が経っている事から、老朽化が問題となっているため、存廃等も含めた、今後の在り方について検討が求められている。

現在でも、一部に立ち入り禁止区域を設けながら、運営しているが、デッキ部分の木材など、本格的な修繕が必要な部位が多くみられる。

今後については、利用者の推移などを考慮しながら、限りある財源の中で青少年健全育成において必要不可欠とされる、幼少期の野外活動体験をいかに実現するかといった視点から、総合的に考えていく必要があると考えている。

## ・協 議

### (1) 社会教育関係団体の認定について

【資料6】

2件の認定申請があり、事務局から説明があった。

～2件とも承認された。

委 員：           コール・セプテンバーの令和3年度予算・収入の部について、内訳のとおり計算したら、金額が合っていない。

南公民館長：      当団体は6月に立ち上げたが、講師の都合で活動は7月から開始したため、会費は7月～3月の9ヶ月分となる。

## 4 その他

委 員：           コロナ感染症の蔓延の為、様々な社会教育活動を中止や縮小しなければならない中ではあるが、感染防止対策をしながら工夫して活動したり、新しい伝達方法を模索している様子に皆様方の意欲を感じた。なかなか感染者数が減らないので心配だが安全に配慮しながら活動が再開されるのを応援したいと思う。事務局の皆様も対応が難しいが支援をお願いしたい。